

# 特別養護老人ホーム藤田荘「外部第三者評価」評価結果の公表

訪問調査日 合和8年1月19日(月)

評価者 社会福祉法人白樺会 施設長

## 第三者評価表

### 1. 理念の共有と実践

理念が明文化されており、職員との共有もできている。

### 2. 事業所と地域のとのつきあい

コロナ過後、積極的に出る事が少なくなった。

### 4. 運営推進会議を活かした取り組み

地域に向けて情報提供・相談する場を設けている。

### 5. 市町村との連携

市町村担当者との連携がとれている。

### 6. 身体拘束をしないケアの実践

定期的な委員会及び研修により全職員が意識できている。

### 10. 運営に関する利用者、家族等意見の反映

意見を反映するための取り組みが課題。

### 11. 運営に関する職員意見の反映

意見を反映するための取り組みが課題。

### 20. 馴染みの人や場との関係継続の支援

情報は把握しているので支援方法の検討が必要。

### 23. 思いや意向の把握

普段から対話の中で意向確認されている。

26. チームでつくる介護計画とモニタリング  
家族にも参加の機会があり、チームで検討している。
30. かかりつけ医の受診診断  
家族の意向確認しながら対応されている。
33. 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  
都度情報提供を行い、方針共有されている。
35. 災害対策  
地域参加型の訓練がなされている。
36. 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  
1人ひとりの人格を尊重して介助行っている。
40. 食事を楽しむことのできる支援  
一緒に何かをすることは難しいが、行事の際には参加していただき役割を持っていただいている。
43. 排泄の自立支援  
排泄のパターンや習慣を把握し、トイレでの排泄ができるよう心掛けている。
45. 入浴を楽しむことができる支援  
ご利用者の希望の時間で入浴することは難しく、職員がタイミングを決めている。
49. 日常的な外出支援  
ご利用者の状態から希望を訴える方が少なく、職員のタイミングで外気浴・散歩などの支援を行っている。
52. 居心地のよい共用空間づくり  
ユニットやフロアに季節感を出し工夫されている。
54. 居心地よく過ごせる居室の配慮  
整理整頓がなされており、居室が広く居心地のよさを感じる。